



第1回 若者応援宣言企業イベント
「魅力発見！業界研究セミナー」

ウインクあいち
2015.06.30(火)



(株)明城

株式会社 明城

〒444-1202
安城市 城入町団戸173-16
TEL 0566-92-0233
HP <http://www.meijyo.co.jp>

明城 の住まいづくりの理念

1. 国産無垢材100%使用する住まいづくり
2. 通気工法を採用する住まいづくり(自然環境に近い住まい)
3. 「伝統的軸組工法」と「独自開発工法」を融合させる住まいづくり
4. 設計・大工技能者・技術者を自社の社員が担当する住まいづくり
5. ユーザーに支持される住まいづくり
6. 住まいづくりをさせて頂いた結果利益上げさせて頂く住まいづくり
大工職など職人と云われる方々が目的を持ち、遣り甲斐を持ち楽しいと思える住まいづくり
7. 地域の景観や気候風土にマッチする住まいづくり
8. 作り手が自慢できる住まいづくり【半分は芸術家気分】



1. 国産無垢材100%使用する住まいづくり

2. 通気工法を採用する住まいづくり（自然環境に近い住まい）

何故 土壁付ける+無垢材100%に拘るの？

年間を通して室内の湿度変動を最小限にしたい

何故 通気工法に拘るの？

電気を使わず 自然の力で環境に対応したい
(国は高气密、高断熱工法の推奨しています)

人の生活空間を魔法瓶の様に気密性を高める事が本当に良い事でしょうか？

気密性を高めるが為に 各室に24時間換気扇を取り付けなさいと法律で縛ります
しかし 高气密住宅では 加湿器を使用されているお宅がある ⇒ 加湿器を使用する反面 除湿器も使用している
【大手住宅メーカーは設備でカバーしています】

快適に生活する為には 年間を通して室内の湿度は40%~60%位が最適と云われています

室内温度を第一優先にする？

確かに冬寒い室内【18度以下】は不快です
しかし、湿度が低い室内【30%を切る】も不快です

室内湿度が少ないと、例えば...

- 1-花粉症に掛かりやすい
- 2-風邪に掛かりやすい
- 3-快適生活を維持できない

通気工法を採用するが 透湿性の断熱材を使用する 【ドイツでは多く使用されている】



3. “伝統的軸組工法”と“独自工法”を融合させる住まいづくり

一般的には

- 1 - 伝統的軸組工法は工事期間が長い
- 2 - 職人さんの技術力により完成度に差が出やすい
- 3 - 工数が多く掛かる(手間代金多く掛かる)
- 4 - 技術取得期間が長くかかる(10年とか)
- 5 - 50年以上前の様に徒弟制度は今の時代に合わない

特許取得
化粧パネル工法【天井・壁 パネル】



特許取得
断熱障子



明城では

- 1 - パネル化に開発すれば誰もが遣れる作業が多く成る
【工場内で安全作業+安定部品を作る事が出来る】
- 2 - 部品化にする事で 部品加工は機械に任せる
【下働は減少+精度の良い部品が出来る+均一部品が出来る】
- 3 - 省力化する、省力化出来る所は パネル化+部品化にする
- 4 - 省力化するとは逆に 拘り力所に多くの工数を掛けて作る楽しみを味わう
- 5 - 現在では 頑固な住まいは当たり前
【頑固なつくりの証に国土交通省大臣認定取得工法・性能表示取得工法】

壁倍率 1,7倍 大臣認定取得



壁倍率4,9倍 大臣認定取得



耐震改修目的に開発

日本に古くから伝わる板倉工法です



名付けて「オブリーク工法」



特許取得・性能表示取得=床剛性4倍

建て前 当日が終わりました(一日の結果)



土壁パネル 壁倍率3.9倍



特許取得・大臣認定取得

土壁塗りは圧出ポンプを使用する独自工法です



4. 設計・大工技能者・技術者を自社の社員が担当する住まいづくり

建方チーム 5名

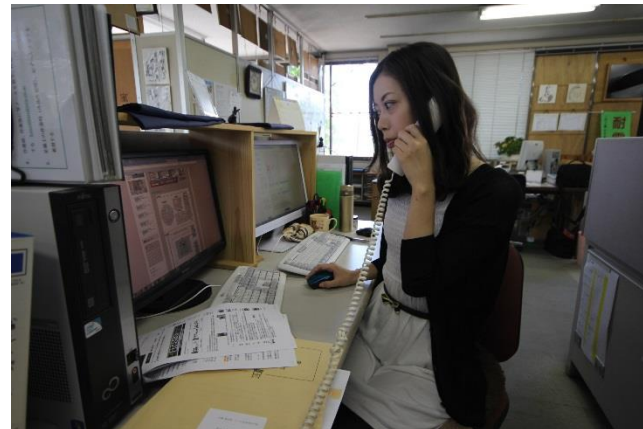
造作チーム 2名

左官チーム 3名

家具・
建具チーム 2名

運搬チーム 1名

営業チーム 6名



5. ユーザーに支持される住まいづくり



漆喰塗りは全ての箇所に直接塗る事が可能
近頃 流行りのDIY施工が出来ます

住まう方と
共に住まいづくりが出来る
提案をする住まいづくり



板倉の板の上に直接漆喰を塗る事で
室内のイメージが大きく変わります

室内が明るくなると共に調湿効果、輻射熱効果は増します

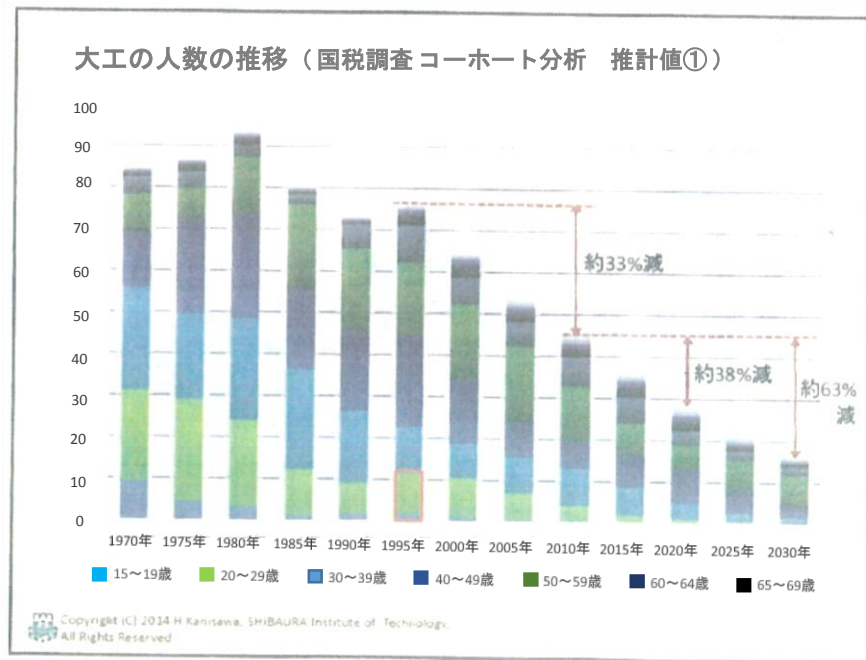
6. 住まいづくりをさせて頂いた結果 利益を上げさせて頂く 大工職など 職人と云われる方々が 目的を持ち 遣り甲斐を持ち 楽しいと思える住まいづくり

住まいづくりには 色々な考えを持ち 起業する方が見える

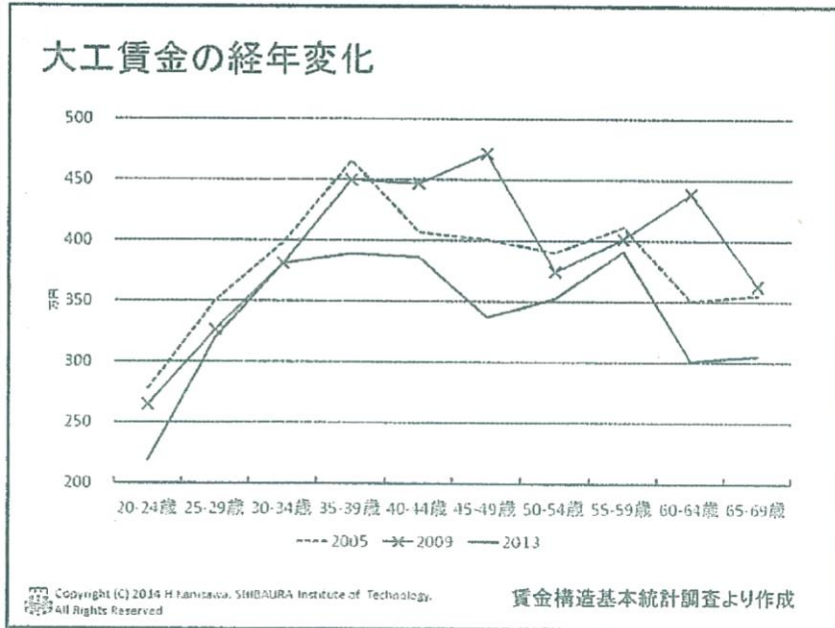
- 例えば
- 1ー金儲けの手段として住まいづくりを起業する方
 - 2ー住まいづくりが好きで起業する方
 - 3ー毎日同じ工場内で作業するよりも雰囲気が変わる現場で物作りをしたい
 - 4ー職人は自由が有る、自分の好きに仕事が遣れる **=この考えは絶対にアウトです**
 - 5ー指示されて遣る仕事よりも自分の力で遣りたい **=仕事覚えるまではアウトです**
 - 6ーロボットのな仕事よりも自分の意思で遣る仕事がしたい
 - 7ーその他思いは一杯ありますね

国家戦略本部 次第	
平成 27 年 2 月 26 日 衆議院本会議終了後 (16:30 以降) 党本部 704 号室 進行 後藤田 正 純 事務局長	
一、開会	
一、挨拶	川崎 二郎 本部長 石田 真敏 副本部長
一、講演	2030 年の建設業の展望と課題について 芝浦工業大学工学部教授 蟹澤 宏剛氏 1989 年千葉大学工学部建築学科卒、博士 (工学)。 財団法人国際技能復興財団理事長、工学院大学工学部建築学科非常勤講師、 芝浦工業大学工学部助教授等を経て現職。 国土交通省建設産業活性化会議委員。
	(30 分~40 分)
一、質疑応答	
	(20 分~30 分)
一、閉会	
【省庁出席者】 国土交通省 北村 知久 土地・建設産業局建設課課長 原野 次郎 土地・建設産業局建設市場課課長 松下 雄介 土地・建設産業局建設市場課課長 久保 寛之 大臣官房技術調査課参事補、保安企画官	

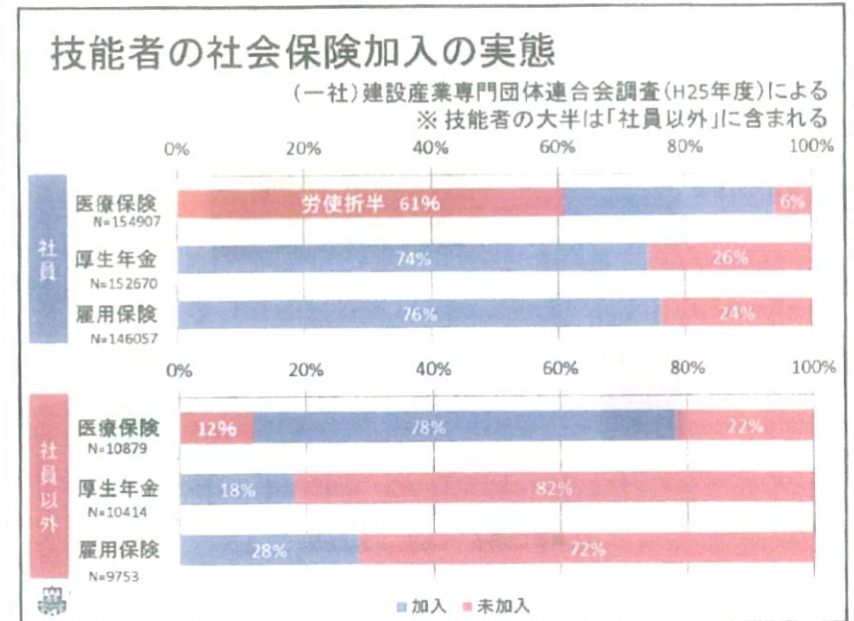
「2030年の建設業の展望と課題について」より



「2030年の建設業の展望と課題について」より



「2030年の建設業の展望と課題について」より



「2030年の建設業の展望と課題について」より

これからの世の中 終身雇用制は崩壊していきます
 大企業の家電メーカーに就職した方々はリストラに成りましたね
 三洋電機(会社が無くなった)・パナソニック・日立・NEC・シャープなど家電メーカーはひどいです
 時代の流れで花形産業もドンドン変わります

建築業では 2030年を見据えた時には 大工職(出来る人は)は花形産業です
 現在大工職を目指す若者が少ない、結果として 今から技術を磨いた皆さんが 2030年には花形に成るのです

7. 地域の景観や気候風土にマッチする住まいづくり

8. 作り手が自慢できる住まいづくり 【半分は芸術家気分】



京都大学卒業し当社に入社2年目の作品